

山田学区

社協だより

第 67 号

発行
山田学区
社会福祉協議会

福祉講座・福祉懇談会

前回の社協だよりでは、認知症ケアパスについてお話しいたしました。認知症ケアパスは、これから向かっていく高齢化社会に対する今からの備えです。

認知症ケアパスという言葉

葉は、いくら説明を受けても、どうもなじめない。なんとか解りやすい呼び方はないかとのことから、これを、高齢者安心ガイドブックと呼ぶこととしました。

山田学区高齢者安心ガイドブックは、高齢者やその家族が、認知症になった時、どのようなサービスや支援が受けられるか、どのような医療



が受けられるか、どこに相談すればよいか。あるいは、認知症を予防するためには、どのような方法、場所あるいは支援があるのか、このようなことが一目でわかるように一覧表として整理す

るものです。認知症が進んで判断力が衰えてくると、不安になります。そのような方が大丈夫と安心できるのは、自分が長年住み慣れた町であり、なじみの人達だと思われま



す。そのためには、地域でどんな支援があるのか、どんな支援を創っていく必要があるかを考えるツールとなるものです。この高齢者安心ガイドブックの作成のため、山田学区社協の活動を多く利用いたしました。福祉講座、

福祉懇談会、そして、山田学区の医療福祉を考える会議です。まず、六月二十九日、福祉懇談会を開催して、安心ガイドブックとは何か、認知症とはどのような病気かというような、基礎的なことを、みんなで学びました。七月二三日第一回目を、八月二八日は第二回目の福祉懇談会を開催しました。



福祉懇談会では、主に、地域サロンの世話をしていただいてる代表者、ボランティアグループの代表の方々に参加していただき、安心ガイドブックや認知症について学ぶとともに、グループ討議をおこなって、自らのスキルアップを図っていただきました。これらの討議ふまえながら、事務局で素案をまとめていきました。そのうえで、山田学区の医療福祉を考える会議にお

きまして、高齢者安心ガイドブックの検討をいただきました。このように多くの学区の既存の活動を通じまして、進めていただきますとともに、山田学区で進めていただいております多くの福祉活動は、本当に山田の宝であり、誇りうるのであるとつくづく感じました。この成果は草津市の費用で印刷していただくことができました。来年度以降はこれらの成果を、学区活動の中で生かしていくことに努めてまいります。

矢倉学区社会福祉協議会との研修交流会

去る一月十八日、矢倉学区社協との交流会を山田市民センターにて行いました。矢倉学区からは二二名の方々が参加していただき、とがで、山田学区社協と矢倉学区社協それぞれの日頃の取り組みについて研修することができました。市社協から高齢化社会の



現状を山田学区と矢倉学区の比較した問題をクイズ形式で出題していただきま

した。高齢化率は、山田学区は市内二位(二七・八%)に

対して、矢倉学区は市内六位(二一・八%)、一人暮らし高齢者数では山田学区が市内十位、矢倉学区は市内八位、高齢者だけの世帯は、山田学区二三一世帯、矢倉学区は五〇八世帯ということから、矢倉学区は高齢化が急速に進んでいることと、山田学区は高齢化率が高いものの、一人暮らしや高齢者世帯の数は市内で一番低いという



ことを再認識することができました。

山田学区社協からは、山田学区の地域特性などの環境特性をふまえた現状を紹介のあと、第二次山田学区住民福祉活動計画の作成につ

いて、「自分たちに何ができるか、背伸びをしない地に足が着いた」計画をコンセプトにしたことを説明しました。

矢倉学区社協からは、住民福祉活動計画については「すべての人を大切に、笑顔あふれるわがまち矢倉」を基本理念に活動計画を策定したことを紹介いただき

ました。

この研修で、お互いの学区とも、高齢社会に向けてより地域福祉が重要になることを学びあうことができ、これからも、地域に根付いた活動ができるようにと意識を高めることができました。



十月二五日、素晴らしい天候のもと、今年もやまだふれあい祭りが実施されました。山田学区社協は、そのPRとともに、初めての



企画として、ワークパートナーきらら北山田の皆さんの全面的なご協力のもと、たこ焼きの模擬店出店をおこないました。大変好評を得まして、早々と準備数量を売り切ってしまった。また、きらら合唱団のステージ発表もあり、楽しい一日を過ごすことができました。

なお、合わせて共同募金をおこない、一万二千九二七円を滋賀県共同募金会に納入させていただきました。

差別のない社会に

十二月二日、奈良県御所市の水平社博物館を訪れ、人権同和問題に関わる館外研修を実施しました。『人の世に熱あれ、人間に光あれ』と結ばれた、日本で初めての人権宣言、全国水平社宣言が出されるに至った、被差別部落の人たちに対する理不尽な差別への悲痛な叫びや背景を示した展示物、

その後の一致団結した部落解放運動への粘り強い取り組みの歴史を学びました。今回は、ガイドさんから、展示物の一つ一つについて懇切丁寧な案内に耳を傾けながら、水平社博物館が、学ぼうとする者にとっては素晴



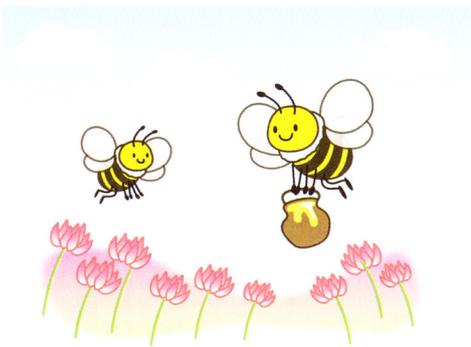
らしい援助の手を差し出してくださると感じました。水平社宣言が行われて九〇年以上経過した今日。改めて差別のない社会の実現に向けて、自分たちは何をなすべきかを考える良い機会になったと思います。

賛助会員紹介

今年も草津市社会福祉協議会賛助会員の募集をさせていただきました。ここでお願いをさせていただきます。社協議会の活動のための大切な原資でありまして、大切に使用させていただきます。

山田学区からは三十社のみなさんから協力をいただきました。ここに皆さんをご紹介します。きらら北山田

- ▼ (株)アヤシロ
- ▼ (株)ナカイテクノ
- ▼ (有)横江製作所
- ▼ 相撲ちゃんこ 大岳
- ▼ (株)光真製作所
- ▼ (株)中嶋歯車工業所
- ▼ 藤田工務店(株)
- ▼ 福盛教材
- ▼ 浜口自転車店
- ▼ オートカム
- ▼ 中野製菓製造(株)
- ▼ (株)久泉エンジニアリング
- ▼ (有)馬場自動車



- ▼ (有)馬場工務店
- ▼ 堀井歯科医院
- ▼ (株)テクノオーミ
- ▼ 膳所木材工業(株)
- ▼ 山一産業(株)
- ▼ 久保水道
- ▼ 西本電気工事(株)
- ▼ (有)馬場建設
- ▼ (有)久保電気
- ▼ 平井自動車工業(株)
- ▼ 佐山水道工業(株)
- ▼ 中川商店
- ▼ すずか亭
- ▼ TENSEISHINBIKAI
- ▼ 岡田茂吉研究所
- ▼ 木川営農組合
- ▼ キャノンマシナリー(株)
- ▼ ワークパートナー
- ▼ きらら北山田

地域サロン紹介

地域で支え合い・ふれあう場の紹介

『みついいけサロン』で行われている活動に参加してきました。そこでは、健康づくりの為、毎週水曜日に「グランドゴルフ」が行われていました。

また、毎週金曜日は、三ツ池町集会所で「いきいき百歳体操」が行われていました。今回の体操参加者は、15名でした。



参加の方が、この体操を始めて床からの起き上がりや椅子からの立ちあがりに効果があつたと語られていました。

次に、「お口の体操」が始まり、食べる力・飲む力の働きが向上す

ると聞きました。心豊かな長寿の秘訣は口からと感じました。他に「ちぎり



絵」や、小物づくりで皆さん熱心に取り組まれ素敵な作品ができています。また、「DVD鑑賞」では、悪徳商法からお年寄り



を守るご近所の力を興味深く学習されていたとお聞きしました。茶話会や食事会・各種ゲーム等々に幅広く活動されておられる様です。「笑顔は健康のもと」笑いの絶えない仲間づくりが育まれふれあいのある居場所がここにあると実感しました。さらに、高齢者の閉じこもりを防ぐ声かけ友愛訪問も行っておられ暖かい思いやりのある『みついいけサロン』だと思いました。

編集後記

今年度は、社会福祉法人草津市社会福祉協議会が発足して、還暦を迎えまして、十二月十三日に、その祝賀式が盛大に行われました。山田学区の社協も、社協便覧によりますと、昭和三二年二月にスタートしていません。当時の資料は残っていないのですが、会計帳簿は昭和四四年から毎年残っています。

これらを眺めていますと、昭和五十年代半ばまでは現在の体育振興会の活動まで社協が行っていたようです。また、敬老会や本年度から市で統一に実施されるようになりました戦没者追悼式も重要な事業であったようです。

それから随分と年月が経っていますが、今の学区社協に求められるものは何か、じっくりと腰を据えて考えていく必要を感じています。地域の連携に期待がありますが、すぐに結果が目に見えて来ることは難しいですね。